

# 民商と河村市長が懇談（9月24日） 市も小規模事業者の訪問調査を始めました

愛知県商工団体連合会（民商）のみなさんが、河村たかし市長にたいして小規模事業者の実態調査の実施を要望、懇談しました。民商として、初めての面会、直接要望の届けでした。党市議団からは、わしの・田口・さはしの3議員が同席しました。

## 代表質問が調査に結びつく

この中で、市市民経済局の職員が今年度から500社を目標に、直接足を運んで実情を把握する取り組みを始めたことが明らかになりました。今年の2月議会、日本共産党の代表質問に、河村市長は「訪問調査をするよう指示する」と答弁しています。懇談に同席した一柳良直市民経済局産業部長は、「市長から指示があったので訪問調査を始めた。1社あたり1時間半から2時間かけて実情をうかがっている」と話していました。

懇談に参加した民商の会長さんなどからは、「家族経営の零細業者のところも訪問してほしい」という要望が市長に寄せられました。

## 持論しか言わない市長に「…」

市長室には「四重の扉」があるといわれた「オール与党」市長と異なって、市長選挙で敵対した団体とも面談する河村市長の姿勢は評価しますが、今日の懇談でももっぱら持論の「減税」を吹聴して、人の話を聞こうとしない姿勢はいただけません。河村市長は「わしのやる減税になんで反対するんだ」といった発言をくりかえすばかりで、他人の話を聞かない市長（宮藤官九郎さんの感想）との評判を裏付ける市長の対応だったそうです。

市長と懇談する民商のみなさん。右奥に市議団。



河村市長に要望書を手渡す

9月20日 読売新聞

## 「まず人の話を聞いて」

28日から東宝系で公開される映画「謝罪の王様」で主演した阿部サダヲさんや脚本を担当した宮藤官九郎さんらが19日、撮影に使った名古屋役所で河村たかし市長を表敬訪問した。市内の不祥事で謝罪続きの河村市長に、宮藤さんは「まず人の話を聞いた方がいい」「アドバイスしていた」「謝罪の王様」は阿部さ

## 謝罪の愚痴聞かされ

んふんする「謝罪師」が、降りかかる難題を謝ることとで解決していく姿を描く娯楽作品。作中では市役所貴賓室が総理官邸、同市東区の市政資料館の中央階段が架空の「マンタン王国」の迎賓館の設定になっている。河村市長は代表を務める地域政党・減税日本の市議らが政務調査費の不正受給を指摘されるなど謝罪を重ねてくる。その後の記者会見で宮藤さんは「あんなに人の話を聞かない人だとは思わなかった。まず人の話を聞くことからじゃないですか。お大事に」と感じます」と苦笑い。阿部さんも「あの調子だと映画を見ないので。ぜひ見てもらいたい」と念を押していた。

## クドカン河村市長にチクリ

ねている。この日は阿部さんらに「人生謝ってばっかり」と嘆き、「給与800万円でやっとな。やけくそですわ」とぼやきが止まらなかった。